

件名	<第6回 蒲田都市づくり推進会議 議事概要>	
日時	平成25年10月31日(木) 午前10:00~12:00	場所: 大田区立消費者生活センター2階大集会室
出席者	委員21名(うち3名代理) オブザーバー1名 傍聴者31名	
配布資料	第6回蒲田都市づくり推進会議資料	

(以下、敬称略)

◆開会・挨拶

- ・中井座長より、開会挨拶

◆資料説明

- ・大田区事務局より、第5回蒲田都市づくり推進会議における主な指摘事項(資料1)、蒲田駅周辺再編プロジェクト(案)(資料2)について説明
- ・日建設計総合研究所より、東口駅前広場初動期整備計画(資料3)、東口地下自転車駐車場初動期整備計画(資料4)、蒲田駅東口駅前広場・地下自転車駐車場整備計画の整理(別紙)、西口駅前広場に関する検討(資料5)について説明
- ・大田区より、大田区景観計画(平成25年10月)の策定概要について説明
- ・大田区事務局より、初動期整備計画について、バーチャル・リアリティ(VR)とパワーポイントで説明

◆意見交換

【以下、主な意見交換内容】

1) 資料の内容について

座長)

蒲田駅周辺再編プロジェクト(案)(資料2)は、次回の推進会議(12月10日)で確定したいという事だが、東口駅前広場の交通島は転回路案とロータリー案の2案(資料3)どちらか決まらないのに、初動期整備計画の整備イメージ(P16)で、先に絵が載ってしまっているのはいいのですか。

⇒大田区)

初動期整備計画の整備イメージの絵は転回路案もロータリー案も両方読みとれる意図で描いている。今後の警視庁協議にもよるが、現段階で、区としてはロータリー案優先で考えています。交通島の形状についても、都市計画変更との関係もあるので、ある程度早い段階で決めたいと考えています。

座長)

わかりました。交通事業者からは転回路案が使いやすいという意見がありましたので、そこは調整しないといけないですね。あと資料の表現ですが、駅ビル荷捌き動線の確保(資料3 P29)について、課題への解決策に案①と案②と選ぶような書き方になっていますが、どちらかではなく、案は1つで両方やるということですね。

⇒事務局)

そのとおりです。表記がまぎらわしくてすみません。

◆意見交換

2) 東口駅前広場、東口地下自転車駐車場について

委員)

駅前広場の転回路はどのような車を想定しているのか。資料の絵だけでは駅前広場の車両の走行の仕方やタクシー乗り場はどこになるのか等よくわからないので、説明をしてほしい。

⇒大田区)

VRを使ってタクシー乗り場、タクシーの走行ルートについて説明。

委員)

VRの説明でよくわかりました。東口駅前広場のロータリー案の横断歩道についてですが、現状より狭くなっているが、何故狭めてしまうのか。根拠はあるのですか。

⇒大田区)

駅前広場内にバス乗降場4つを、様々な決まり事に基づいて配置すると、横断歩道が狭くなる形状になってしまう。まだ、概略の検討結果で、想定で絵を描いている段階であり、ご指摘のとおり広い幅員が取れる検討を今後考えて行きたい。

委員)

バスのために横断歩道が狭くなるのは理解出来ない。現状は維持するか、さらに歩きやすい歩道にするかにしてほしい。

委員)

荷捌き動線について、荷捌きの車が駅前広場を通るのは危険だと思います。

また、地下自転車駐車場出入口を区役所前面道路に設ける事は、車両通行止めになる事は賛成できない。

委員)

東口駅前広場の転回路案の絵についても横断歩道の幅員は、確保して頂きたい。交通事業者だけ優遇されているイメージを受けます。極論を言えば、バスは4台ではなく3台にして、アロマスクエアの前に1系統残しても構わないと思います。

地下自転車駐車場のレイアウト案(資料4)について、交渉はしているとは思いますが、是非JRに敷地の提供をお願いし、使いやすい形にしてください。

JRの敷地提供が直ぐには無理でも、後に提供してもらった時に、3,000台と言わず4,000台も拡張を見据えた地下自転車駐車場のレイアウトも考えてください。

補助36号線の地下自転車駐車場出入口と走行空間の詳細検討(資料4)について、資料では錯綜しないで上手くいくように説明されているが、日頃通っている私の感覚で言えば、歩行者と自転車利用者の動線が確保されるイメージが出来ない。もう少し検討する余地があると思います。

⇒大田区)

交通事業者だけ優遇されているという点については、駅ビル前面歩道が初動期では広くなるといった、歩行者環境を考えた計画をしている所もある一方で、ご指摘のとおり横断歩道や、一部現行の歩道が縮小する考え方を示している箇所もあるので、総合的に見てどうなのかという議論はあると思います。本日のご意見を考慮した上で、もう一度、地元や区側の考えを整理したいと思います。

地下自転車駐車場については、JRと更に交渉を進め、使い勝手のよい地下自転車駐車場にしたいと考えています。

⇒大田区)

補助36号線の地下自転車駐車場出入口の形状については、副座長といかにすれば安全に自転車の出入りが出来るかについて検討中です。どこか問題があれば、直していく段階であり、これが最終版ではありません。ご指摘頂いた事を踏まえて、今後さらに検討を進めていきます。

座長)

地下自転車駐車場の配置方針(資料4)で灰色のボックスは何を意味しているのですか。この場所じゃないとだめなのでしょうか。

⇒事務局)

地下自転車駐車場の機械室である。機械式の自転車駐車場の出入口との兼ね合いを考えるとこの位置になるが、位置については、引き続き検討をしていきます。

座長)

機械式に入れるための機械の配置をみても、南北でバランスが悪く、やはり地下自転車駐車場の形に問題がありますね。

⇒事務局)

計画条件で、北と東で約1,200台自転車が来るのに、地下自転車駐車場の形は南側に偏心しており、北・東側から利用する人は不便である事と、地下の換気を南北バランスよく考えた時に機械室の位置は大体この辺りにある。基本的な事を考えていくと、やはり形が不整形で、配置が困難です。

委員)

歩道を拡幅して歩行者が歩きやすくなると、自転車も走りやすくなり、自転車と人間の交通事故が増えると思うので、駅前の広げた動線にどうやって自転車を入れないようにするか、そのためには、自転車動線の確保も合わせて考えなければいけないと思います。

高齢者や障害者のために、自転車を地上面から地下自転車駐車場に入れ、他の人は地下に降りて自転車を停めるといような、分けて考える事も1つの手法としてあるのではないのでしょうか。

⇒大田区)

広場の外側に自転車駐車場出入口を設置する事で、自転車を停める方を広場内に入れたい。通行する方についても、極力自転車を広場内に入れさせない考え方をとっています。本来ここは押し歩きゾーンになっていますが、徹底されておらず、今後PRを強化して、自転車が歩行者より通り易いような事が無いようにしていきたいと思っています。また、副座長から指導を受けながら枠組みを考えている所で、自転車と歩行者が共存できるように検討を進めたい。

地上に直接機械式を作る事については、検討をした経緯はあり、機械の前に人が並んでしまう問題、機械式1基あたり200台~250台しか入らないので、ある程度の台数を確保すると機械式がずらっと並ぶ問題があるため、高齢者や障害者の方はエレベーターの併設によって地下に入れる方法を考えています。

委員)

年代別利用率は出せるのではないかと。高齢者や障害者のニーズ調査、ヒアリングをして頂きたい。調査をして利用者数が少ないのであれば、エレベーターで対応するという話になるのではないかと。

委員)

西口駅前広場配置イメージ(資料5)ですが、交通島の真ん中にある植栽が邪魔をして、横断歩道を曲がらなないと渡れず、電動車いすは不便である。資料で触れていないが、平場にして横断歩道を直進出来るようにする事を考えているのか。西口駅前広場の中に、誰でもトイレを設置出来ないか。

⇒大田区)

現段階での、西口駅前広場の交通島の変更は考えていません。今後、交通施設については中長期にわたり改善していく可能性があるため、今後の課題だと思っています。

誰でもトイレについては、必要性については十分理解できるが、どこに設置するのか等、問題もある。今後、西口駅前広場についても地元の方に参加して頂き、専門部会を設ける事を考えているので、そこで議論したいと考えています。

オブザーバー)

蒲田駅周辺再編プロジェクト(資料2)は、始めに駅前空間形成の方向性として6つの基本方針があり、それぞれが2つに分かれているが、(1)歩行者空間や(4)自転車利用空間を見ると、上段で書かれている事については分かり易くなってきたと思うが、下段については、見えづらくなっている所がある。また、(5)安心・安全な都市空間、(6)環境にやさしい都市空間についても、防災機能をもつ駅前広場や、環境にやさしい施設(低炭素型都市)というのがあり、西口では少し議論があったように思うが、東口ではなかったのでは。取りまとめる時には入れてまとめてはどうか。

⇒事務局)

今後、考慮します。

◆その他

・今後の日程は下記のとおりとした。

第7回蒲田都市づくり推進会議:

H25年12月10日(火)9:30~11:30

大田区立消費者生活センター2階大集会室

第8回蒲田都市づくり推進会議:

H26年2月17日(月)10:00~12:00

大田区立消費者生活センター2階大集会室

以上

平成25年度 蒲田都市づくり推進会議 構成員名簿

◆学識経験者

委 員

東京工業大学大学院 社会理工学研究科教授	中井 検裕	【座長】
東京工業大学大学院 総合理工学研究科教授	屋井 鉄雄	【副座長】(欠席)

◆地元関係者

委 員

蒲田東地区自治会連合会	小山 君子	
蒲田西地区自治会連合会	藏方 庸光	
蒲田東口商店街商業協同組合	田中 彰一	
蒲田西口商店街振興組合	片山 篤榮	
蒲田東口地区まちづくり協議会	藤田 静男 (欠席)	飯尾松男氏 (代理出席)
蒲田大好き委員会	望月 清志	
蒲田再開発推進委員会	田中 常雅 (欠席)	
特定非営利活動法人 大身連	宮澤 勇	

◆大田区議会議員

委 員

都市・環境委員会 委員長	岡元 由美 (欠席)	
都市・環境委員会 副委員長	深川 幹祐	

◆東京都

委 員

担当

都市整備局都市基盤部 街路計画課長	朝山 勉 (欠席)	大野 誠 (代理出席) (区部街路計画係長)	松岡 秀一 (欠席) (区部街路計画係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課長	池内 光介 (欠席)	林清一郎 (代理出席) (交通施設担当係長)	白勢 和道 (欠席) (交通施設担当係主任)
都市整備局都市基盤部 交通企画課		安田 剛之 (交通施設担当係長)	

◆大田区

委 員

担当

まちづくり推進部長	川野 正博		
まちづくり推進部 再開発担当部長	八嶋 吉人		
まちづくり推進部 まちづくり管理課長	黒澤 明	渡部 正美 (欠席) (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部 交通企画担当課長	吉田 春彦	西沢 一成 (まちづくり企画担当係長)	
まちづくり推進部都市開発課長 (蒲田再開発担当課長兼務)	齋藤 浩一	大貫 恵二 (地域整備担当係長)	近江 淳一 (地域整備担当係長)
まちづくり推進部 蒲田再開発担当副参事	近藤 純司	菊地 裕之 (地域整備担当係長)	
まちづくり推進部 防災まちづくり担当課長	落合 邦男	倉 一郎 (防災まちづくり担当係長)	
都市基盤整備部 都市基盤管理課長	畑元 忠 (欠席)	小泉 謙二郎 (欠席) (計画調整担当係長)	岡本 慎一 (欠席) (地域交通対策担当係長)
都市基盤整備部 蒲田まちなみ維持課長	高橋 義博	貝塚 悟 (自転車対策担当係長)	
連続立体事業本部長 (連続立体事業課長事務取扱)	荒井 昭二		
連続立体事業本部 連続立体事業再開発担当課長	岡田 誠	安元 綾子 (連続立体再開発担当係長)	

◆国土交通省

オブザーバー

都市局街路交通施設課	東 智徳 (企画専門官)		
------------	-----------------	--	--

